

第2学年 英語科学習指導案

紫波町立紫波第二中学校

日 時：平成19年11月13日(火)

学 級：2年1組(男子15名 女子18名 計33名)

授業者：佐藤 久里子、マシュー・ナンネリー(ALT)

1 単 元 Unit6 The Story of *Silent Night* (NEW HORIZON English Course Book 2)

2 単元について

(1) 教材観

この単元は、(1)クリスマスイブのブラウン家の部屋の情景を描写する、(2)部屋の中にあったクリスマスプレゼントの1つである本について、絵美とジューディが対話する、(3)クリスマス直前のオーストリアのある教会でオルガンがこわれてしまい、詩に曲をつけてギター演奏で歌った曲が好評を博し、これが「きよしこの夜」の誕生につながるという話になる、という3つの場面で構成されている。

There is(are)~.構文を指導する上で注意しなければならないことは、「The ball is on the desk.」と「There is a ball on the desk.」の違いについてである。the や所有格がつく名詞などの「他の同じ種類の物などからはっきり区別させる意味を持つ言葉」が主語になる場合には、そのまま主語にするが、そうでない場合は there is(are)~.構文が用いられる。また、この場合の there には意味がなく、大事な単語である「存在するもの」を聞き落とされないようにするために、はじめにつけるもので、人に注意を促したりする気持ちを表すものでもある。これらについて理解させた上で語順を理解させ、確実な定着を図りたい。

動名詞「...ing (...すること)」は、動詞の主語・目的語・補語になるという名詞的性質を持つ。不定詞の名詞用法と混同して生徒が混乱しないように、動名詞だけを目的語にとる動詞を用いて導入し、発展練習で動名詞と不定詞の使い分けについて学習を深めさせたい。

(2) 生徒観

素直な生徒が多く、様々なことに意欲的に取り組む姿勢が見られる。授業中も理解しているものに対しては、積極的な発言が多く見られる。逆に、苦手なものに対しては消極的になるので、生徒がどこでつまづいているか把握しやすい。

授業中は、どの生徒も意欲的に取り組んでいるため、基本的な文型は比較的定着している。しかし、自己表現や応用問題になると、既習の言語事項を使いこなせない生徒が多い。特に writing に関しては、日本語をそのまま英文に直そうとするために、未習単語や語順でつまづき、指示された量の半分程度しか書けない生徒が、学級の3分の1を占めている。そのために、既習単語を用いて文章を作る活動を行い、自己表現力の育成に努めている。生徒によって活動時間が異なる取り組みでは、little teacher を生徒の中から選び、互いに教えあう雰囲気の中で個別指導や反復練習を充実させていきたい。

(3) 指導観

新出文型「There is(are)~.」の導入については、教室にあるさまざまなものを紹介することを第1段階とする。そのために、まずは基本的な語順を説明しパターンプラクティスを多く取り入れる。確実な定着が図られてから、用法や語順を理解させ、より具体的に自分の周りの状況について説明できるよう自己表現力をつけさせたい。

一方、もう一つの新出文型である「動名詞」については、身近な出来事を動名詞を用いて説明することにより有用感を感じられるよう、定着を図りたい。また、不定詞と動名詞の違いを理解させるための練習も取り入れていきたい。

さらに、クリスマスソングのリスニング等で、文化面の関心意欲も高めたいと考えている。

(4) 指導の工夫

学習定着度状況調査から、本校の生徒は「書く力」の定着が大きな課題であると考え「書く力」を授業改善内容の重点とした。これまでは基本的な英文を書くことの定着を目指し、次のことに取り組んできた。1つ目は、基本文を5回読んだ後ノートに何度も書いて練習し、テストをして確認をするBasic timeの導入である。短時間で繰り返し正確に書くことを意識させることにより「書く力」を高めたいと考えたためである。2つ目は、できるだけ多くのパートで自己表現活動を取り入れ、その中で自分の考えを相手に伝える力をつけるとともに、自分の考えや相手の考えを文字にして表すことにより「書く力」の育成につなげたい。3つ目として、単元のまとめとして単語テストを行っているが、その練習プリントを用意して家庭学習で書くことの学習を習慣づけることにより、抵抗なく英語を書けるようにしていきたい。

またこの取り組みとは別に、自己表現活動中に難しい日本文をそのまま英文に直そうとしている生徒がいた場合には、その生徒の文を例に挙げ、簡単な英文に直す為の工夫を指導したいと考えている。

3 単元の目標

(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度

発言や様々な活動に積極的に取り組もうとする。

ペア学習などで友達と協力して、コミュニケーション活動に取り組もうとする。

ノンフィクション(物語)を読んで、場面の变化や登場人物の心情などを読み取り、それが表れるように朗読しようとする。

(2) 表現の能力

自分の周りにあるものや自分の知っている状況について、There is(are) ~.を使って詳しく説明することができる。

自分の周りにあるものや自分の知らない状況について Is(Are) there ~?を使って尋ねたり、それに答えたりすることができる。

場面の变化や登場人物の心情などを読み取り、それが表れるように朗読することができる。

(3) 理解の能力

クリスマスイブのブラウン家の話を聞いて、内容を理解することができる。

「きよしこの夜」の物語を読み、登場人物の心情などを知ることができる。

「きよしこの夜」ができるまでの内容を知ることができる。

(4) 言語や文化についての知識・理解

There is(are) ~.構文(肯定文)の形・意味・用法を理解している。

There is(are) ~.構文(疑問文と応答)の形・意味・用法を理解している。

動名詞の形・意味・用法を理解している。

4 指導計画(9時間扱い)

Starting Out..... 2時間(本時2/2)

(There is(are) ~.構文を理解し、それをを用いた文章を作ることができる。)

Multi Plus3..... 1時間

(There is(are) ~.構文を使って、5文以上の長文を作ることができる。)

Dialog..... 1時間

(Is(Are) there ~?構文を使って問答ができる。)

Reading for Communication..... 3時間

(動名詞の用法を理解し、それをを用いた文章を作ることができる。)

Listening Plus6..... 0.5時間

Speaking Plus4..... 1時間

単元のまとめ..... 0.5時間

5 本時の目標

- (1) 英語を使って積極的に発言したり、活動したりしようとする。
- (2) There is(are)～.構文を使って、自分だけが知っている場所を紹介することができる。

6 本時の評価規準

	単元の評価規準	具体的評価規準	
		おおむね満足 B	十分満足 A
コミュニケーションに関する関心・意欲・態度	英語を使って積極的に発言したり、活動したりしようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動場面で積極的に活動している。 ・仲間の良い点を意識して聞いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動場面で積極的に活動し、それについて発表したり、発言したりする。 ・仲間の良い点を、次時で使えるようメモをとりながら聞いている。
表現の能力	There is(are)～.構文を使って、自分だけが知っている場所を紹介することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書を使いながら、4文で紹介文を書き、発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わからないことを ALT に英語で質問しながら5文以上で紹介文を書き、発表することができる。
Cへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ There is(are)～.構文を確実に定着させる。 ・習った英語をできるだけ思い出させるよう心がける。 ・机間指導をしながら、個に応じた支援を心がける。 ・間違えても良いので、大きな声で練習したり発表したりすることを意識させる。 		

7 本時の展開

段階	学習活動	教師の活動 T 1 T 2	指導上の留意点 評価 使用物
導入 10	<p>0 Preparing</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題の答え合わせをする。 <p>1 Greeting</p> <p>2 Warm-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Quick fire <p>3 Review</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Basic time <p>基本文 【1】(4)</p> <p>4 Today's goal</p>	<p>チャイムが鳴る前に全員が正確に答え合わせをするよう、指示を出す。</p> <p>既習文法を用いた質問を英語でする。</p> <p>宿題の確認を行う。</p> <p>【3】の答え合わせをする。</p> <p>テストの答え合わせをする。</p> <p>model を提示する。</p>	<p>・簡単な質問は最後に回す。</p> <p>G アップシート No.38</p> <p>・短い時間で確実に覚えられるように集中させる。</p> <p>model sheet 2 枚</p>
自分だけが知っている場所を紹介しよう。			
展開 35	<p>5 Practicing</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自英文4文以上で紹介文を作る。 ・書き終わったら little teacher として、他の生徒にアドバイスをする。 ・ペアで読み練習をする。 <p>6 Presentation</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挙手をして発表する。 ・発表者以外はポイントを記入する。 	<p>机間指導を行い、作業の進みが速い生徒には読み練習も行わせる。</p> <p>little teacher 任命書を渡し、互いに教えあう環境づくりをする。</p> <p>机間指導を行い、添削を行ったりヒントを与えたりする。</p> <p>机間指導を行い、習熟の遅い生徒への支援をする。</p> <p>評価を行う。</p> <p>机間指導を行い、消極的な生徒へ支援をする。</p> <p>口頭で評価を行う。</p>	<p>sheet</p> <p>積極的に活動しているか。</p> <p>There is(are)~.構文を使って、自分だけが知っている場所の紹介文を書いているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ既習事項を用いて作らせる。 ・わからないことを A L T に英語で質問しながら文を完成させる。 ・必要に応じて辞書を使わせる。 <p>積極的に紹介しているか。</p> <p>仲間の良い点を意識して聞いているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違えてもよいので堂々と発表できる環境づくりをする。
終結 5	<p>7 Conclusion</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返り表に達成度と授業の反省を書く。 ・宿題と次時の予告を聞く。 <p>8 Greeting</p>	<p>evaluation sheet を集める。</p> <p>Multi Plus3 を予習してくるよう指示を出す。</p>	<p>evaluation sheet</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員に書かせる。

私だけが知っている秘密の場所

class number name _____

You can write in Japanese. (構想)

Tool box

<ul style="list-style-type: none"> * 秘密の場所を紹介します。 I ' m going to introduce my secret place. * 秘密の場所をお話します。 I ' m going to tell you my secret place. * ~ で有名だ be famous for ~ * ~ の北 (南 / 西 / 東) 側にある It ' s in the north (south / west / east) of ~ * ~ の近くにある It ' s near ~ * ~ の後ろにある It ' s back of ~ * 池、沼 pond * 湖 lake * 石 stone * 怖い stern * 海 sea * 堤防 bank 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>これは事前研を行った学級のヒントなので、当日は実際の学級のヒントを書き入れる予定です。</p> </div>
---	--

You have to write in English (紹介文)

Useful expression (これは役立つ !)

--

資料 4

板書計画

Tuesday, November 13, sunny		< Evaluation >
< Today's Goal >	Model.1	1. Volunteer
自分だけが知っている場所を紹介しよう。		2. Speak loudly
< Basic Time >		3. Speak fluency
There are some presents under the tree.	Model.2	4. Memorize

資料 5

聞き方レベル

< 参考資料 1 >	自分の力を高めるための「聞き方」のポイント〔聞き方レベル〕
【傾聴態度】	LV 1 私語をしない
	LV 2 「聞く」以外の動作をしない
	LV 3 話し手の目を見る
	LV 4 話し手に気持ちを伝える（うなづく）
【要約聴取】	LV 5 聞いた内容を人に伝えることができるように「聞く」
【情報聴取】	LV 6 聞いた内容のポイントをまとめながら「聞く」
【批判聴取】	LV 7 自分の見方・考え方と比較しながら「聞く」

2年英語科 Gアップシート No.38 (Cクール) 参考: Unit 6
「～があります」「～がいます」という表現をおぼえよう① The Story of *Silent Night*

Class No. Name Date

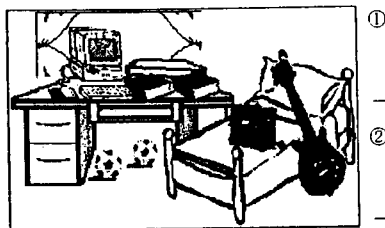
【1】次の日本語が表す英文になるように、() 内に適切な語を書き入れなさい。
<言語: 「～があります」「～がいます」という文の理解>

- (1) () () a notebook on the desk.
「机の上にノートが1冊あります。」
- (2) () () many apples in the box.
「箱の中にりんごがたくさんあります。」
- (3) () () a dog () the door.
「ドアのそばに犬がいます。」
- (4) () () some presents () the Christmas tree.
「クリスマスツリーの下に、プレゼントがいくつかあります。」

【2】次の日本語が表す英文になるように、() 内の語(句)を正しく並べかえて、英文を書きなさい。ただし、文頭にくる語も小文字で表しています。
<言語: 「～があります」「～がいます」という文の理解>

- (1) (a / there / library / is) near here.
「この近くに図書館があります。」
-
- (2) (junior high schools / eight / were / there) in our city.
「私たちの市には、中学校が8校ありました。」
-
- (3) (concert / big / there / a / is) in Midori Park.
「みどり公園で、大きなコンサートがあります。」 (concert「コンサート」)
-

【3】次の絵を見て、どこに何があるかを説明する英文を2つ書きなさい。
<表現: 既習表現を用いて正しく書く>



①

②

2年英語科 Gアップシート No.38 (Cクール) 参考: Unit 6
「～があります」「～がいます」という表現をおぼえよう① The Story of *Silent Night*

Class No. Name Date

【1】次の日本語が表す英文になるように、() 内に適切な語を書き入れなさい。
<言語: 「～があります」「～がいます」という文の理解>

- (1) (There) (is) a notebook on the desk.
「机の上にノートが1冊あります。」
- (2) (There) (are) many apples in the box.
「箱の中にりんごがたくさんあります。」
- (3) (There) (is) a dog (by) the door.
「ドアのそばに犬がいます。」
- (4) (There) (are) some presents (under) the Christmas tree.
「クリスマスツリーの下に、プレゼントがいくつかあります。」

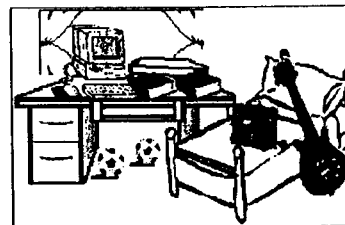
※「人[動物]がいる」「(物)がある」は「There is a + 単数名詞」「There are + 複数名詞」で表します。
この基本表現は、ほとんどの場合、場所を表す前置詞in, on, by, underなどと一緒に使われます。この時、前置詞の後の名詞には、in the box, by the doorのようにtheがつくことが多いので注意しましょう。

【2】次の日本語が表す英文になるように、() 内の語(句)を正しく並べかえて、英文を書きなさい。ただし、文頭にくる語も小文字で表しています。
<言語: 「～があります」「～がいます」という文の理解>

- (1) (a / there / library / is) near here.
「この近くに図書館があります。」
- There is a library near here.
- (2) (junior high schools / eight / were / there) in our city.
「私たちの市には、中学校が8校ありました。」
- There were eight junior high schools in our city.
- (3) (concert / big / there / a / is) in Midori Park.
「みどり公園で、大きなコンサートがあります。」
- There is a big concert in Midori Park.

(1) a libraryは単数名詞なので、There is～を使います。near「～の近くに」は場所を表す前置詞です。hereは「ここに」という意味で、thereはつきません。
(2) 複数を表すeightがついていまずので、There are～を使います。in our cityのようにmyやourなどがついている場合もthereは不要です。
(3) There is～やThere are～の表現は、「建物」だけではなく、このようにコンサートのようなイベントが「ある」の意味でも使われます。

【3】次の絵を見て、どこに何があるかを説明する英文を2つ書きなさい。
<表現: 既習表現を用いて正しく書く>



(解答例)

There is a guitar by the bed.
There is a bag on the bed.
There are (two) books on the desk.
There are (two) balls under the desk.
There is a computer on the desk.

「There are + 複数名詞」を使うときは、個数や人数を表す数字や、some (疑問文、否定文ではany) が名詞の前につくことがあります。

私だけが知っている秘密の場所

class number name

You can write in Japanese. (構想)

<hr/> <hr/> <hr/>

Tool box

- * 秘密の場所を紹介します。 I' m going to introduce my secret place.
- * 秘密の場所をお話します。 I' m going to tell you my secret place.
- * ~で有名だ be famous for~
- * ~の北(南/西/東)側にある It' s in the north (south/west/east) of~
- * ~の近くにある It' s near~
- * ~の後ろにある It' s back of ~
- * 池、沼 pond * 湖 lake * 石 stone * 怖い stern
- * 海 sea * 堤防 bank

これは事前研を行った学級のヒントなので、当日は実際の学級のヒントを書き入れる予定です。

You have to write in English (紹介文)

<hr/> <hr/> <hr/>

Useful expression (これは役立つ！)

Unit < GOAL:

> total

PG

Name

day	date	weather	忘	%	test	impression	印

reflection

Unit < GOAL:

> total

PG

Name

day	date	weather	忘	%	test	impression	印
wednesday	September 26 th	sunny	0	99	if	女, if 文 (3は10) オトコが何人ですか? つまり、最後にだろ	
Friday	September 28 th	rainy	0	100	If you can go, please call me.	もし、行けるなら、 → お願いだから、電話してね	
Tuesday	October	Sunny	0	100	I think that science is important.	↑ 科学は重要 ↑ If you can go when you have time (もし、空いたら、 来てください)	
Monday	October 15 th	cloudy	0	100	When a bike fell on Fujita, people complained. (10)	予習、復習が 必要だと思います	
Monday	October 22 nd	rainy	0	100	Because we need our parts, I am against the plan. (14)	家で音読したり していいよ	

reflection

資料4

板書計画

<p>Tuesday, November 13, sunny</p> <p><Today's Goal></p> <p>自分だけが知っている場所を紹介しよう。</p> <p><Basic Time></p> <p>There are some presents under the tree.</p>	<p>Model.1</p>	<p><Evaluation></p> <ol style="list-style-type: none">1. Volunteer2. Speak loudly3. Speak fluency4. Memorize
	<p>Model.2</p>	

資料5

聞き方レベル

<参考資料1>		自分の力を高めるための「聞き方」のポイント【聞き方レベル】
【傾聴態度】	LV 1	私語をしない
	LV 2	「聞く」以外の動作をしない
	LV 3	話し手の目を見る
	LV 4	話し手に気持ちを伝える（うなづく）
【要約聴取】	LV 5	聞いた内容を人に伝えることができるように「聞く」
【情報聴取】	LV 6	聞いた内容のポイントをまとめながら「聞く」
【批判聴取】	LV 7	自分の見方・考え方と比較しながら「聞く」

(1) ① ④ are ① To ② you have to bring your lunch.

④ エースは ① 掃除 ① 前 (2) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

(1) A Did you watch Ougondensetu last night?

B Yes, how about you?

C Yes, it was interesting.

D Oh, me too.

2) I played volleyball. It was fun. I like summer vacation.

1) You mustn't swim here. (2) You don't have to speak

Japanese



英語 Word test

① 掃除、腕 ② 不滿意、たばこ ③ 反対、

④ 習慣 ⑤ 事、教科書

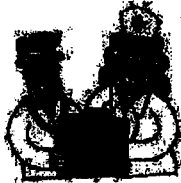
2 ① need ② If ③ become ④ little girl ⑤ should

⑥ bad ⑦ because ⑧ problem ⑨ Remember

← 単元 (単語) テストの解き直し
間違えたところを書き練習した後、
改めて解き直す。
Gアップシートの活用→
まとめや宿題として、主に復習用に
用いている。


【1】 次の対話文は、体調の悪いジュディ (Judy) がかりつけの病院へ行ったときのものです。
これを読んで、文中の①～⑤の空所に適する文を、下のA～オの記号から選び、答えなさい。
< 音読: 病院での会話表現の理解 >

Doctor: What's the matter?
Judy: (①)
Doctor: When did it start?
Judy: (②)
Doctor: How do you feel now?
Judy: (③)
Doctor: What did you eat for dinner yesterday?
Judy: (④)
Doctor: Do you think you have a fever*?
Judy: (⑤)
Doctor: OK. I think you have a cold. I'll give you some medicine*.
Judy: Thank you very much



fever 熱 medicine 薬


① (1) ② (2) ③ (3)
④ (4) ⑤ (5)



A Not so bad.
I I ate a hamburger.
U It started last night.
E I have a stomachache. (stomachache 「腹痛」)
O Yes, I think so.

【2】 あなたが「アメリカ合衆国でホームステイ中に、朝から熱があり、病院に行った。」と仮定し
ます。病院での医師の次の質問に対する答えを英語で書きなさい。
< 音読: 伝えたい内容にふさわしい語句を選択して書く >

(1) What's wrong?
I have a fever.
(2) When did it start? It started this morning.
V This morning.



It started this morning. It started this morning.